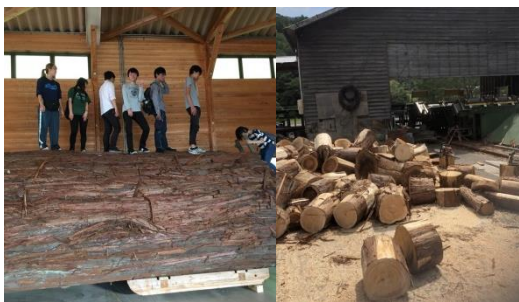


01 大紀町木のおもちやプロジェクト



活動名：大紀町木のおもちやプロジェクト
 メンバー数：6名
 活動場所：大紀町
 実施主体：吉田本家山林部
 担当教員：池山 敦（教育開発センター）
 活動年度： **H28 H29 H30**

●映画「ウッジョブ」感想

都会の生活に慣れた進路未定の高校生が、田舎の神去村で過酷な林業の研修に参加し、心身ともに成長を遂げていくという物語である。主人公と共に林業を知っていき、その土地ならではの世界観と、環境の違いによる新発見などがとても面白く、観終わった時には心地良い感動に包まれていた。苗木として植えてから木材になるまでとても長い年月がかかってしまうことから、次の世代に繋げるやりがいのある仕事だと感じる事ができた。

●「三重ラーニングジャーニー」感想

私は今回のラーニングジャーニーを通し、林業に対するイメージが変わりました。様々なお話を聞き、木は表面の皮までお金になることや、今後の発展についても知ることが出来たので、林業への興味が増しました。しかし、木の値段が以前の半分以下程でしか売れないという事も知り、やはり厳しい産業であるという風にも思いました。私は、これからの林業は、職人がただ木を切るだけでなく、加工、販売も行う六次産業化を進めていくべきであると思いました。

三重を知る旅「三重ラーニングジャーニー」

#1 バスで巡る美杉きり体験

2018年度三重創生ファンタジスタ「地(知)の拠点」COC+では、三重県内の各高等教育機関に所属する学生を対象に、三重県の山、海、次世代産業を学ぶ「三重ラーニングジャーニー」(全3回)を実施します。三重県内の知られざる魅力を発見し、楽しく学ぶことのできる旅に出发してみましょう!!
 第一回は映画「WOOD JOB!」のロケ地となった林業の町、津市美杉町への旅です。植林から加工まで、地域における林業の現状と課題を学びながら、現場を知ることができる日帰り体験の旅です。

日時：平成30年8月31日(金) 日帰り 雨天決行、荒天中止

旅程(案)

8:50 三重大学集合
 9:00 出発
 10:20 美杉木材市場見学&学習
 12:00 みえジビエの店「山里」で昼食
 13:30 木材の加工現場、製材所見学
 15:00 きりりの現場見学
 16:30 道の駅美杉 映画の大道具見学
 18:00 三重大学着 自由解散



対象学生：三重県内の大学、短大、高専

募集人数：定員20名

(申込者多数の場合抽選になります)

募集締め切り：7月31日(火) 午後5時

参加費：850円(昼食代、保険代込)

申込方法：下記メールアドレスへ送信。メールはタイトルを「三重ラーニングジャーニー参加希望」とし、学校名、学年、氏名をご記入ください。(旅の詳細については、申込者にメールでお伝えします。)

お問合せ先：三重大学学務部地域人材教育開発機構チーム(矢田) 三重創生ファンタジスタ

TEL: 059-231-9969

Mail: jimu@cocpls.mie-u.ac.jp

地(知)の拠点

今回の企画には美杉町を舞台とした映画「WOOD JOB」を鑑賞して予備知識をつけた上で参加したが、その知識をとても深められた。今回の体験の中で最も印象的だったのはきりり現場だ。巨大な木が倒れていく様子は迫力があり圧巻だった。現代の林業は昔よりも木の単価が下がっているせいで利益があまり出ず、補助金をもらってやっとというような厳しい現状がある。だから、三重に豊富にある木を生かして若者が林業の活性化に努めていくべきだと思った。

ラーニングジャーニーに参加して林業の現状について知った。美杉木材市場で、市場の経営が大変で過酷な現状であることを知った。映画「wood job」の市場で競りが行われる場面では、木が高値で売っていたのでそのイメージがあったが実際には1立米(4m50cm)で1万2000円程度である。しかし、安い木でも製材所で職人の腕によって、いかに綺麗に無駄なく加工できるかが重要になることが必要であると考えた。

三重ラーニング
ジャーニー(8月31日)

